

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103755
法人名	有限会社 三光資産
事業所名	グループホームさんこう
所在地	松山市南土居町131-1
自己評価作成日	平成25年9月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年9月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者が安心してのびのび生活できるのを目標に、一人ひとりのニーズ、生活リズムを把握し、利用者の立場に立った支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用契約時には、ご家族や利用者へ「医療連携の指針」に基づいて「看取りの意味」を含めて説明されている。医療連携を図っている医師から、看取り支援について「一緒にがんばってみないか」と言っていただいたことがきっかけで、この一年の間に2名の利用者の方の看取り支援に取り組みました。その際、毎日、訪問看護ステーションから看護師が訪問してくれて、利用者の「今の状態」を職員に詳しく説明してくれて、職員はとても心強かったようだ。
職員個々に、利用者の希望を反映した献立を一週間分ずつ作成して持ち寄り、栄養士の資格を持つ職員を中心に話し合い、決めるようになっている。管理者は、利用者に「新鮮な旬の食材を味わってもらいたい」という思いから、野菜は毎日配達してもらっている。又、魚は、商店から骨を抜く等加工されたものを届けてもらっている。さらに、お米は農家から直接購入されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームさんこう

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 村上 健太郎

評価完了日 平成25年9月1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 利用者の地域参加や地域住民との交流を通し、地域社会との繋がりを感じられる理念を作り上げている。 日々の申し送りやミーティングの際、理念に基づいて話し合いを行っている。	
			(外部評価) 事業所では「尊厳ある自由なかかわりのある暮らし」と理念をつくり、居間に掲示しておられる。管理者は、理念にもとづき、新人職員には、例えば「あいさつをする」、利用者の「血液型や出身地を覚える」等、一日ひとつの課題を持って利用者とかかわることに取り組めるよう、話をされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日常の散歩などの際には気軽に挨拶をされている。 夏祭りや秋祭りなど地域のイベントに参加し、交流を行っている。	
			(外部評価) 近くの公園で行われる地域の夏祭りには、毎年、町内会長が利用者の座席を準備してくださっており、利用者は盆踊り等を見学して楽しんでいる。又、中学校の職場体験を受け入れておられ、今年は3名の生徒が来られて、利用者と一緒に食事して過ごし、介護の体験をされた。事業所が所在する地域には高齢者が多く、時には、認知症について相談に来られたり事業所に空室はないかと聞きに来られることもある。事業所では、地域包括支援センターにつなげたり、一緒にホームの空室を探す等して支援されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域での研修や講習にも参加し、地域のお年寄りの現状の把握に努めたり、日頃から地域住民からの相談も受けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一方的な報告や説明の場にならないよう、率直な意見が出し合えよう配慮している。 出された意見は、日々の申し送りやミーティングなどで報告、話し合いを行っている。</p>	<p>おおむね2ヶ月に1回の会議開催に向けて、メンバーの希望や意見等をうかがいながら、年間計画を立ててはどうだろうか。会議の目的でもある「地域に開かれた事業所」への取組みに向けて、地域の方やご家族等、いろいろな方が参加しやすい会議のあり方等について、今後さらに工夫を重ねていかれてほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>会議時には、外部評価結果をもとに目標達成の取組みについて話し合われたり、外部から講師を招いて「接遇」について勉強する機会等も作られている。事業所では、年間の会議開催日を予め決めておられるが、現在は、開催が遅れがちになっている。会議メンバーへの案内は、10日前くらいに行なっておられ、市の担当者や町内会長等に参加いただくことが難しいこともあるようだ。ご家族の会議参加については、利用契約時に説明とお願いをしておられ、参加していただけそうなご家族に案内をされるが、参加につながり難いようだ。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いつでも連絡や協議をしながら、問題解決を図るよう体制をとっている。</p>	<p>運営推進会議時、市の担当者からは、「寒暖差での体調変化」「食中毒・熱中症への注意」等についてのアドバイスをいただいた。</p>
			<p>(外部評価)</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修会やミーティングを通して日頃から身体拘束に対する意識を高め、注意している。</p>	<p>各ユニットの入り口は、ドアを開けるとチャイムが鳴るようになっている。利用者がベッドから降りる時、転倒の心配がある利用者の方については、職員が15～20分おきに様子を見に行くようにされている。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会やミーティングを通して日頃から虐待防止に対する意識を高めている。また、家族の方にもできる限り訪問していただき、閉鎖的で虐待を生むような環境にならないよう注意を払っている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 日々のミーティング時等、機会あるごとに職員への説明を行っており、必要な場合はすぐに支援できる体制をとっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、一つ一つの事項毎に理解・納得されているか確認を取りながら説明を行っている。又、家族等からの質問の時間も納得されるまで十分取っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時には、意見・不満・苦情等が表せ易いよう時間と場面作りを行っている。また、電話でもこちらからの問いかけを心がけ意見・不満・苦情の言い易い雰囲気作りを行っている。出された意見はすぐに話し合いを行い、運営に反映している。 (外部評価) 利用者の体調変化等、変わったことがあれば、ご家族に電話で連絡や報告をされている。又、毎月、ご家族へ送付する書類の中には、管理者が利用者の様子等のコメントを書いて同封されている。ご家族から「職員の名前がわからない」と意見をいただいたことをきっかけに、各ユニットの入り口に、職員の写真と名前を書いたコルクボードを作られた。	管理者は、ご家族の遠慮する気持ちを察して、今後、運営推進会議を捉えて「家族中心の会議を作っていきたい」と考えておられる。利用者の暮らしをご家族とともに支えていけるように、今後もさらに、ご家族への具体的な報告等に努められて、意見や要望を引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の申し送りや定期的なミーティングなどで話し合いを行い、改善を行っている。	
			(外部評価) 手の不自由な利用者の方が食事しやすいように、職員は、スプーンの持ち手の太さ等を試しながら加工しておられる。「畑仕事をしたい」と希望する利用者がおられ、職員は「プリンターで野菜を作ってはどうか」と提案しておられ、現在検討中であった。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 個々に話しをしたりして、状況を把握している。そして各スタッフの悩みや希望を反映できるように職場環境の改善に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 市や県、地域での研修や交流会参加等の情報提供行ない、それに合わせた勤務調整などを行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域での交流会などに参加し、交流を図っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 先ず、本人より訴えや話しを十分に傾聴し、思いや希望を把握し安心してサービスの利用ができるよう本人と話し合い、信頼関係づくりに努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>利用開始前に何度か話し合いをさせて頂き、ニーズや問題などをお聞きし、家族等の信頼関係ができるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>相談時、本人や家族の状況等を確認し必要なサービスが受けられるよう柔軟な対応を行い、必要ならば他事業者との相談やサービス利用等の連携をとっている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>利用者が気軽に声かけができるよう努めていて、気軽に相談などを受けたり、世間話し込まれる中で信頼関係を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>一緒になって本人を支えていけるように、本人を交えて話をしたりしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>本人のなじみの場所、友人、美容院、歯医者、病院とも関係が途切れないように家族を通して交流できるよう支援している。</p>	
			(外部評価)	<p>調査訪問時、「帰りたい。お願いします」と言われる利用者がおられ、職員は、ご家族に伝えることを約束して指切りをしておられた。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 毎日の食事や午前・午後のおやつ時に職員も一緒に過ごし、利用者同士の関係の理解を深めるとともに、間に入って利用者同士のコミュニケーションが取れ合うよう支援し特定の利用者の孤立を生まないよう努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用終了後も家族との連絡を取り合いながら関係を続け、必要であれば再度のサービス利用の相談にも対応している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で把握に努めている。意思疎通の困難な方には家族から情報を得よう努め、本人にとって何が幸せな暮らしなのかを家族を交えて検討している。 (外部評価) 「今までの生活を知り、介護に活かす」ために、入居前には、ご家族等から利用者の生活歴や職歴、日常生活動作等の情報を集め、「入居時面接調査表」を作っておられる。さらに、センター方式の暮らしの情報シートに情報を整理して、支援につなげる仕組みを作っておられる。日々の中で普段と違うことがあれば「気付きノート」に記入して職員で共有されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用前や利用直後は、当事業所を利用するに至った経過やそれまでの生活歴について本人や家族等より聞きとっていき、暮らしの把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の関わりの中からスタッフが本人の生活のリズムや暮らし方について申し送りや気づき等を利用し、把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>普段の会話の中から本人の思いや意向を掴み取り、それを基に十分な話し合いを行い利用者主体の介護計画の作成を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、基本的に3ヶ月毎に見直すようになっている。ご家族には、見直し前に来訪された際や電話等でケアについての希望や要望を聞くようにされている。ユニット毎にカンファレンスを開き、計画作成担当者が中心となり、計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプランに沿った介護記録を行うようにし、日々の食事、水分、排泄の記録だけでなく、本人の会話や職員の対応・会話等も記録し、情報の共有を行っていくことで職員の経験に関係なく同じ対応が取れるよう努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の状況に応じ、通院や送迎等必要な支援を柔軟に対応している。また、緊急の受診や入院にも医療連携体制を活かし対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行事等を通して地域住民と交流を図ったり、敬老の日等には近隣の小学校から手紙を頂いている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>本人や家族と話し合い、希望されるかかりつけ医の受診支援を行っている。</p>	
			(外部評価)		
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>提携医療機関を通して看護師とも契約を行っており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行ってもらっている。また、緊急の場合等は24時間相談、受け入れができるよう連携をとっている。</p>	
			(外部評価)		
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	(自己評価)	<p>入院時は家族や病院と情報交換をしながら、事業者内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるようにしている。</p>	
			(外部評価)		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>早期から関係者と話し合いを十分に繰り返し行い、重度化した場合、事業所での最大の支援方法を本人や家族に説明し理解していただいている。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティングなどで定期的に対応の訓練をしたり、実例に基づいた話し合いを行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に消防訓練などを行っている。	昨年末の避難訓練の後の訓練は、今後予定することとなっており、定期的な訓練には至っていない現状である。いざという時、職員が慌てず対応できるよう、日頃からいろいろな災害の場面を想定した避難訓練を繰り返して行なわれてほしい。
			(外部評価) 昨年末に行なった避難訓練時には、通報訓練や避難経路の確認とともに、「消防署が到着までにどうするか」ということを職員で話し合い、利用者を「外へ運び出すこと」に重点を置き、訓練を行なわれた。事業所は、地域の方の避難場所になっており、米や水の備蓄の他に、地下水・太陽光が使用できる設備等を整えておられる。昨年末に、通報方法や避難経路の確認等をしておられるが、その後の避難訓練は今後の予定となっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 普段の関わりや記録等において、誇りやプライバシーを損ねるようなことがないよう、職員には日々のコミュニケーションの中で常に細心の注意を払うよう徹底している。	
			(外部評価) 調査訪問日の昼食時、食べこぼした物を気にされる利用者がおられ、隣のテーブルで利用者と一緒に食事をしていた職員が側に来て「大丈夫ですよ」と食べこぼしを拾ったり、声をかけておられる様子が見られた。利用者は、笑顔で安心して食べ始める様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何か行動を起こす場合でも、必ず利用者の意思を確認してから行うようにしており、また、意思表示困難な方には表情や体の動きから意思を確認し、できるだけ本人に決めていただくよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			起床時間、食事おやつの時間、食べる場所、その日の過 し方、就寝時間等細かくは決めずにその日の状況によって 柔軟に対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)	
			朝の着替えは意思表示できる方には、本人に着る服を決め てもらっている。なじみの美容院も利用していただいたり、希 望があればヘアカラーや自由に化粧もしていただいている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			利用者の希望や好みに対応した栄養バランスの摂れたメ ニューにしている。食事前後の準備や片付け、料理の下ごし らえもスタッフと一緒に楽しみながら行えている。	
			(外部評価)	
			職員個々に、利用者の希望を反映した献立を一週間分ず つ作成して持ち寄り、栄養士の資格を持つ職員を中心に話 し合い、決めるようになっていく。管理者の、利用者「新鮮 な旬の食材を味わってほしい」という思いから、野菜は毎 日配達してもらっている。又、魚は、商店から骨を抜く等加工 されたものを届けてもらっている。さらに、お米は農家から直 接購入されている。利用者は、日頃ごぼうの笹がきや、もや しの根とり等、野菜の下ごしらえをされる。調査訪問時は、ご 自分のお膳を下膳されたり、職員が洗った食器やお盆を拭 いておられた。施設長は、利用者は「ご飯を作ってもらっ ているから、文句を言えないと思っているのではないか」と感じ ておられ、今後は「もっと言えるように取り組みたい」と話して おられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価)	
			一人ひとりの状態や嗜好に合わせてケアプランを作り、柔軟 に対応している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価)	
			毎食後一人ひとり声かけを行い、必要に応じて介助を行って いる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの力やパターンを把握し、本人と相談をおこない、声かけをしたり、誘導、介助を行っている	
			(外部評価) 昼間はできるだけトイレで排泄できるよう支援されており、紙オムツを使用される方も昼間はトイレに座ってみる等して、排泄の自立に向けた支援に努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分が摂りやすいようにジュースやコーヒーなどを用意したり、積極的にヨーグルトやヤクルトなどの乳酸菌を摂っている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 混乱されたりするため時間をきめている。個々の状態などに合わせて時間を変えたり声かけの仕方を工夫する、特殊浴槽での入浴など、柔軟に対応している。	
			(外部評価) 入浴日は、週2回、曜日を決めておられ、基本的には、同姓介助で支援されている。職員の都合等も踏まえ、利用者に声をかけて入浴を誘い、長湯がお好きな方には、ゆっくりと浴槽で温まることができるよう支援されている。事業所では、名水である「高井の水」で入浴できるよう、現在、水を引く準備をされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者のその時の状況に合わせて声かけや誘導などを行い、安心して臥床できるよう支援を行っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			スタッフは申し送りなどで薬の確認を行い、薬について理解をしている。また必要に応じてバイタルサインチェックを行い、症状変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			パズルや塗り絵など軽作業、風船バレーやトランプなどレクリエーションを個々に合わせて勧めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			天気に応じて散歩や外気浴などを勧めている。また本人の希望に合わせて買い物に行ったりしている。	
		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(外部評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			季節毎には、菜の花や藤等を見に出かけておられる。週に1度は、庭に出たり、近くを散歩する機会を作っておられる。買い物は、月に一回程度、2~3人ずつ出かけられるよう支援しておられ、ショッピングセンター等に出かけておられ、ファストフードでおやつを食べて帰ることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			個々に合わせて本人が管理し、希望に応じて買い物に行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
			本人や家族の希望に応じて電話を掛けたりされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者にとって居心地のいい家具の置き場や装飾には工夫や配慮している。できるだけ季節感を感じられる装飾を常に心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所周辺の田んぼの風景は、季節の移り変わりを感じさせてくれる。居間のテーブルには、事業所の畑で採ってきたぶどうが枝ごと花瓶に飾られていた。調査訪問時、居間では、利用者それぞれに、パズルをしたり、テレビの前のソファに座って時代劇を見る等して過ごされていた。壁には、利用者の習字や塗り絵の作品や、外出時等の写真が飾られていた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テレビの前にソファを置いたり、テラスに椅子や畳を用意してのんびりして頂けるようにしている。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族と相談し必要な物を揃えたり、レイアウトを変えるなどしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>仏壇や位牌を持ち込まれている方は、毎朝、ご自分でお供えのご飯を用意して、ご自分で供えておられる。犬のお好きな方の居室には、犬のぬいぐるみを飾ったり、犬のポスターを貼っておられた。又、外出や日常の利用者の写真を職員がレイアウトして、壁に貼っておられる。ご家族の来訪時に、ご本人と一緒に見ながらおしゃべりをされるようだ。テレビや机、椅子等を持ち込んでいる方もいる。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>野菜の皮むきや雑巾作りなど簡単なものを楽しみながらも、自分がやったという達成感が得られるように工夫している。</p>	